

第126期

事業報告書

平成20年4月1日から
平成21年3月31日まで



ISO9001 認証
JQA-1050



ISO14001 認証
JQA-EM0365

大阪府東大阪市四条町12番8号

株式会社 ロブテックス



新社長 ごあいさつ



このたび平成21年4月1日より代表取締役社長を務めることになりました地引俊爲でございます。

創業120年を越える企業の経営を担うにあたり、この「100年に一度」の不況を乗り越え、これからも永く続く企業にするための礎を築いていくことが今の私に課せられた使命であると考えております。

昨今のロボテックスグループを取り巻く環境は非常に厳しい状況になっております。しかし当社には120年を越える歴史があり、この歴史はいわば変革の歴史といっても過言ではありません。時代とともに常に変化し、難局を乗り越えて120年の歴史を築いてまいりました。これからも時代とともに変化し続けることで難局を乗り越え、明日に向かって新しいロボテックスグループ創りに取り組んでまいります。

すべての役員、社員が同じ思いを共有し、力を合わせてこの変革に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス



地引 啓 名誉顧問「旭日双光章受章」

当社名誉顧問の地引 啓は、春の勲章の旭日双光章を受章いたしました。

地引名誉顧問は、業界団体では、全国作業工具組合、関西作業工具協同組合で理事を歴任し、東大阪商工会議所では、平成7年副会頭に就任、平成13年～19年まで6年会頭を務め、社業はもとよりものづくりの町、東大阪や作業工具業界の発展に尽力した功績が認められ今回の受章となりました。

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

さて、ここに第126期の事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧たまわりますようお願い申し上げます。

当連結会計年度のわが国経済は、米国に端を發した世界的な金融市場混乱による株価や為替相場の急激な変動影響を受け、企業収益が悪化し、設備投資の減少や雇用情勢の悪化、個人消費の減退がみられ、さらに当第3四半期以降におきましては、国内外とも急速に景気悪化傾向が強まりました。

このような状況の下、当社グループは創業120年を機に更なる企業の発展・継続のため経営幹部の世代交代を図ってまいりますと共に、一方で内部統制強化にも取り組み、グループ全体における経営品質の向上に取り組んでまいりました。しかしながら、経営環境は厳しい情勢となり、売上高は52億9千1百万円（前年同期64億9千2百万円）となりました。利益面では、2億3千4百万円の営業損失（前年同期は1億7千3百万円の営業利益）、3億4千4百万円の経常損失（同9千4百万円の経常利益）となり、特別損益では旧物流センター土地売却益ならびに120周年記念事業費用等が発生し、3億3千4百万円の当期純損失（同1億1千4百万円の純損失）となりました。

事業別の概要は次のとおりです。

<金属製品事業>

売上につきましては、国内・海外共に拡販に注力いたしましたでしたが、急速な景気悪化の影響を受け、各品種において減少し、売上高は50億1千9百万円（前年同期62億3千2百万円）となりました。利益面では、大幅な売上の減少に加え、棚卸資産の評価をより厳正に行ったことによる損失や売上先に対する貸倒損失の発生、過年度に退職給付信託に拠出いたしました有価証券の時価下落並びに退職給付債務算定における割引率変更等による退職給付費用の増加により、3億8千万円の営業損失（同3千5百万円の営業利益）となりました。

<レジャー事業（ゴルフ練習場）>

お客様へのサービス向上施策が奏効し、入場者数の増加が見られ、レジャー事業の売上高は2億7千2百万円（前年同期2億5千9百万円）となり、営業利益は1億4千6百万円（同1億3千7百万円）となりました。

今後の経済情勢は、政府の経済対策に期待は掛かりますものの、企業収益並びに個人消費の回復には相当の時間を要し、経営環境は厳しい状況が続くものと考えております。

このような見通しの中、当社グループは2009年度の経営スローガンとして「グループ全員一丸となり、飛躍に向けての足場を固め、新しいロボテックスを創る」を掲げ、グループ全員が同じ思いを持ち、何を成すべきかを考え、企業体質の更なる改善による基礎固めを行い、創業120年の歴史を超えた新生ロボテックスへと変革する初年度としてまいる所存であります。営業部門におきましては、マーケティングを更に徹底し、商品戦略の方向性を明確にいたしますと共に、特約店ポイント制度の有効利用に加え、エンドユーザーへの営業活動の深耕による売上確保並びに営業サポートの充実による営業活動の効率化を図ってまいります。生産・開発部門におきましては、多能工化・標準化・単純化によるスリムな生産体制での利益確保や高付加価値商品への取り組みによる生産技術力の強化を目指しますと共に、提案型商品及び次世代商品の開発を強化し、売上の伸長を図ってまいります。

次期の見通しといたしましては、連結売上高で48億3千万円、連結営業利益で2億4千5百万円、連結経常利益で1億4千万円、連結当期純利益で8千5百万円を見込んでおります。

株主のみなさまには、変わらぬご支援、ご指導をたまわりますようお願い申し上げます。

平成21年6月

取締役社長

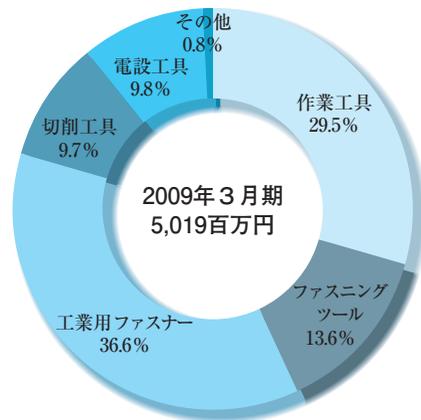
地引俊為

連結業績の推移

● 営業成績

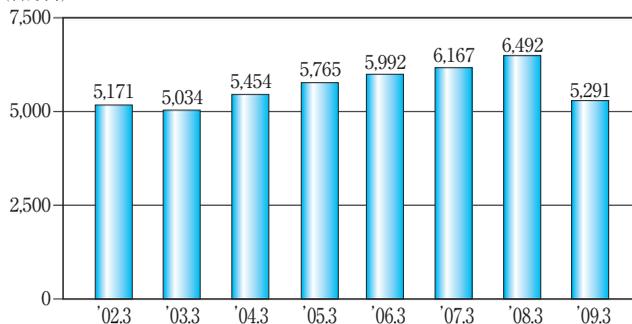
区分	第119期 (2002年 3月期)	第120期 (2003年 3月期)	第121期 (2004年 3月期)	第122期 (2005年 3月期)	第123期 (2006年 3月期)	第124期 (2007年 3月期)	第125期 (2008年 3月期)	第126期 (2009年 3月期)
売上高 (百万円)	5,171	5,034	5,454	5,765	5,992	6,167	6,492	5,291
経常損益 (百万円)	△ 54	10	228	366	384	203	94	△ 344
当期純損益 (百万円)	38	47	73	192	353	358	△ 114	△ 334
1株当たり 当期純損益 (円)	3.31	4.23	6.90	17.26	35.47	37.24	△11.72	△35.31

● 金属製品事業における品種別の売上高構成比



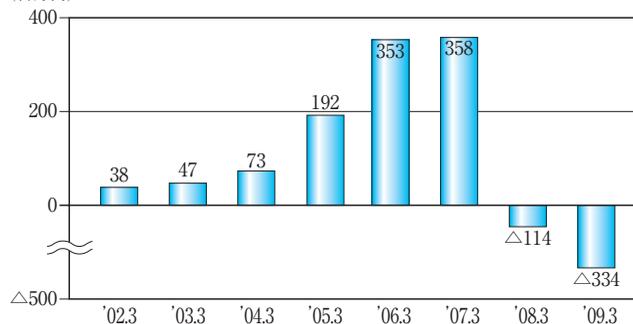
● 売上高

(百万円)



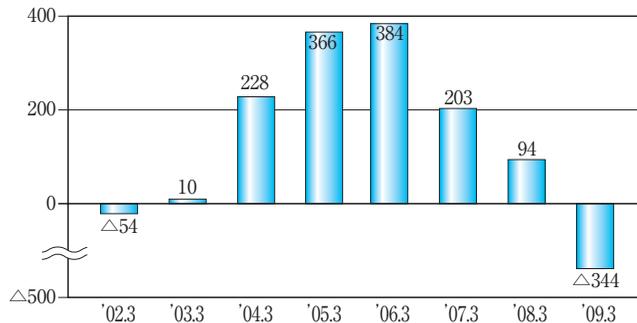
● 当期純損益

(百万円)



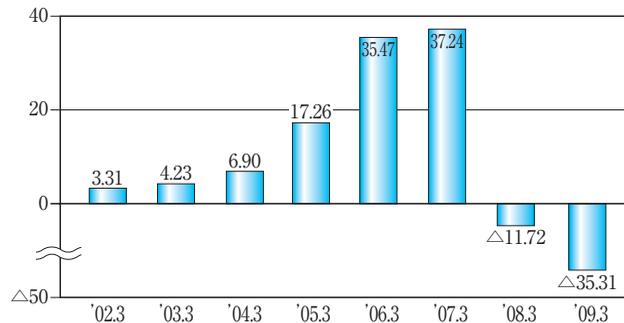
● 経常損益

(百万円)



● 1株当たり当期純損益

(円)



連結財務諸表

● 連結貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,636,142	流動負債	3,600,418
現金及び預金	1,107,716	買掛金	160,832
受取手形及び売掛金	673,306	短期借入金	3,168,994
商品及び製品	1,091,344	リース債務	132,943
仕掛品	288,902	未払法人税等	26,274
原材料及び貯蔵品	375,960	その他	111,374
繰延税金資産	62,805	固定負債	1,842,398
その他	37,940	社債	800,000
貸倒引当金	△ 1,834	長期借入金	375,140
固定資産	3,481,871	リース債務	570,032
有形固定資産	3,104,950	退職給付引当金	60,858
建物及び構築物	1,542,808	役員退職慰労引当金	29,185
機械装置及び運搬具	96,739	その他	7,182
工具、器具及び備品	70,226		
土地	741,388	負債の部合計	5,442,817
リース資産	631,713	(純資産の部)	
建設仮勘定	22,074	株主資本	1,633,989
無形固定資産	105,407	資本金	960,000
リース資産	71,274	資本剰余金	491,045
その他	34,133	利益剰余金	330,502
投資その他の資産	271,512	自己株式	△ 147,559
投資有価証券	75,737	評価・換算差額等	7,434
繰延税金資産	156,667	その他有価証券評価差額金	7,434
その他	75,225	少数株主持分	40,912
貸倒引当金	△ 36,118	純資産の部合計	1,682,335
繰延資産	7,139	負債及び純資産の部合計	7,125,153
社債発行費	7,139		
資産の部合計	7,125,153		

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 連結損益計算書

平成20年4月1日から
平成21年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		5,291,786
売上原価		3,729,521
売上総利益		1,562,265
販売費及び一般管理費		1,796,281
営業利益	△	234,015
営業外収益		
受取利息及び受領配当金	3,626	
仕入割引	14,141	
受取家賃	5,708	
その他の	7,677	31,153
営業外費用		
支払利息	73,242	
売上割引	52,287	
その他の	16,312	141,842
経常利益	△	344,704
特別利益		
固定資産売却益	147,674	
その他の	12,645	160,319
特別損失		
固定資産除却損	5,353	
創業120周年記念関連費用	50,116	
その他の	23,176	78,646
税金等調整前当期純損失		263,031
法人税、住民税及び事業税	59,309	
法人税等調整額	△ 1,606	57,702
少数株主利益		13,444
当期純損失		334,177

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 連結キャッシュ・フロー計算書 平成20年4月1日から
平成21年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	159,956
投資活動によるキャッシュ・フロー	239,133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,170
現金及び現金同等物の増加額	387,918
現金及び現金同等物の期首残高	619,798
現金及び現金同等物の期末残高	1,007,716

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 連結株主資本等変動計算書

平成20年4月1日から
平成21年3月31日まで

(単位：千円)

	株 主 資 本				株主資本合計	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式		その他の有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	960,000	491,045	759,803	△126,918	2,083,930	8,823	8,823	27,626	2,120,380
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 95,085		△ 95,085				△ 95,085
当期純損失			△334,177		△334,177				△334,177
自己株式の取得				△ 20,927	△ 20,927				△ 20,927
自己株式の処分			△ 38	287	249				249
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の 変動額(純額)						△ 1,389	△ 1,389	13,285	11,896
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△429,301	△ 20,640	△449,941	△ 1,389	△ 1,389	13,285	△438,045
平成21年3月31日残高	960,000	491,045	330,502	△147,559	1,633,989	7,434	7,434	40,912	1,682,335

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 子会社

会 社 名	株式会社ロブテックス ファスニングシステム	鳥取ロブスターツール 株式会社	株式会社ロブエース	株式会社ロブテックス アンカーワークス	株式会社ロブメディカル
設 立	昭和63年7月2日	平成2年12月6日	平成3年8月8日	平成20年6月4日	平成20年6月4日
資 本 金	1,000万円	5,000万円	5,000万円	1,000万円	1,000万円
住 所	東京都中央区日本橋 堀留町1-5-11 堀留Dビル7階	鳥取県西伯郡大山町 高田1213番地1	大阪府八尾市上尾町 6丁目1番地	大阪府東大阪市四条町 12番8号	大阪府東大阪市四条町 12番8号
事 業 内 容	ファスニングツール 工業用ファスナー卸売業	金属製品製造業	ゴルフ練習場	アンカーの製造販売	医療機器の製造販売
代 表 者	代表取締役社長 川邊裕一	代表取締役社長 鈴木 治	代表取締役社長 平田正紘	代表取締役社長 木村誠治	代表取締役社長 米川修平

会社の概要

平成21年3月31日現在

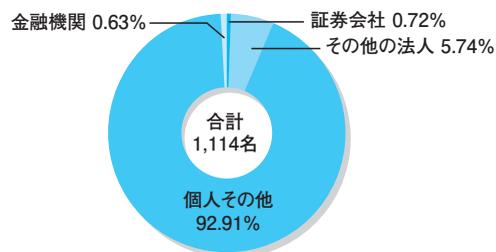
設立 大正12年8月12日
資本金 960,000,000円
発行済株式総数 10,000,000株
本店所在地 東大阪市四条町12番8号
従業員数 90名
製造販売品目 作業工具
ファスニングツール
電設工具
切削工具
工業用ファスナー

事業所

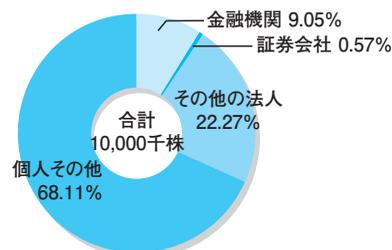
本社／東大阪市四条町12番8号（〒579-8053）
☎072-980-1110(代)
大阪営業所／東大阪市四条町12番8号（〒579-8053）
☎072-980-1111(代)
東京営業所／東京都板橋区高島平2丁目6番4号（〒175-0082）
☎03-3550-3671(代)
名古屋営業所／名古屋市北区八竜町1丁目40番地（〒462-0805）
☎052-915-0431(代)
福岡営業所／福岡市博多区山王1丁目7番9号（〒812-0015）
☎092-431-0395(代)

株式の状況

発行可能株式総数 45,000千株
発行済株式総数 10,000千株
株主総数 1,114名
所有者別



所有数別



役員 (平成21年6月18日現在)

取締役社長 (代表取締役)	地引俊為
専務取締役	行俊直彦
取締役	豊島尚規
取締役	田邊浩樹
取締役	山口正光
監査役(常勤)	林邦男
監査役	稲垣貞男
監査役	藤本昇

エビ印工具



LOBSTER®



株 主 メ モ

事業年度
定時株主総会
基準日

4月1日から翌年3月31日まで
毎年6月に開催いたします。
定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
※その他必要がある場合は、あらかじめ
公告する一定の日

公告方法

電子公告により行います。
<http://www.lobtex.co.jp/lobtex/ir/>
ただし、電子公告によることができ
ないやむを得ない事由が生じた場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。
なお、当社の貸借対照表ならびに損
益計算書は、EDINET（金融商品取引
法に基づく有価証券報告書等の開示書
類に関する電子開示システム）にて開
示しております。

株主名簿管理人

大阪市中央区北浜二丁目4番6号

同事務取扱場所

株式会社だいこう証券ビジネス
株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
電話 フリーコール 0120-255-100